

第1回（8月） 会議録（主な意見）

- 地域の宝として、子どもが一番だと思う。しかし、自分が住む地域でも少子化が進み、来年度小学校が統合される予定である。伝統ということでは、盆踊りがある。地域の踊りにたくさんの子供たちが参加していた。以上のことから、宿泊ができ、地引網のような体験と豊かな自然を感じることができるプログラムがあるとよい。
- 私たちの地域でも今年度から夏祭りが平常開催できた。祭りは壮年会の若い人たちが中心となって運営され、たくさんの小学生が参加し、地域のつながりを育む大切な要因だと感じた。お祭りにあわせて、地域の伝統芸能を行ったり、地域の特産品を使った食べ物を提供したりしたらどうか。
- 地域の宝は子どもと高齢者。それに加えて風光明媚で自然豊かな場所と豊かな食文化がある。新しいアイデアとしては、子どもや高齢者が自分たちの町の素晴らしさを伝えるガイドツアーを行ってはどうか。あわせて伝統料理を伝える教室を開いてはどうか。
- 女性と子どもをターゲットにイベントをすると、それにお父さんや高齢者が引きずられて参加することが多い。素敵な海岸を会場に、獅子舞や花火、おいしいものをふるまえば「新橋立フェスティバル」になると思う。さらに砂浜を活かした砂像づくりや漂流物を使った作品づくりもおもしろい考える。
- 事例発表を聞いて子どもと女性の活躍が浮かびました。さらに美しい景観、歴史、祭りを掛け合わせると、地域の新聞づくりを行ってはどうか。課題として高齢者の参加が少ないということであれば、高齢者に地域の歴史を学び、いろいろな話を聞いて新聞づくりに活かしてはどうか。
- 橋立の文化、歴史的建造物を活かし、高齢者が次世代に魅力を伝えるようお話しする機会を設け、それを子供たちが、子供たちの目線で地域の魅力を発信できるようなパンフレットにまとめてはどうか。
- 子供たちがやっぱり地域の宝。子供たちがリーダーとなって活躍するのもよい。地域の伝統である獅子舞も活かし、船上から祭囃子が聞こえてきたら何かおもしろいイベントができるのではないか。また、そんな経験をした子供たちが成長し、いつかふるさとを大切にする姿につながるのではないか。